

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	4705	領域略称名	多元質感知
研究領域名	多様な質感認識の科学的解明と革新的質感技術の創出		
領域代表者名 (所属等)	西田 眞也 (京都大学・大学院情報学研究科・教授)		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、人間による質感認識の情報処理の解明、及び工学による質感の表現・認識技術の開発に取り組んだ研究である。質感について、質、量ともに期待以上の研究成果を成し遂げた。特に、質感研究という、既存の学問分野の枠に収まらない新規の融合的学問領域を創出した点、さらに、産業や芸術など学術以外の領域にも大きなインパクトをもたらした点は高く評価できる。今後、知見の再現性が確保されれば、産業等の多様な領域に対する更なる貢献が期待される。国際連携も活発に行い、多数の査読付き国際論文誌上での成果発表、質の高い国際シンポジウムの開催などを通じて、質感 (shitsukan) 研究という新学術領域研究の国際的評価を確立した点も特筆に値する。

本研究領域は質感研究を大きく進展させたが、同時に、質感とは非常に複雑なものであり、質感の本質についての統一的な理解に至るためには更なる研究の積み重ねが必要であることも明らかにした。今後の質感研究の一層の発展に大いに期待したい。